

モジャコ分布調査

平成31年3月18日 水産技術開発センター

モジャコ(ブリ稚魚)は、毎年春に流れ藻^{ながれも}とともに本県海域に来遊します。ブリの養殖用種苗となるモジャコは、ブリ養殖日本一を誇る本県養殖業にとって非常に重要です。

水産技術開発センターでは、モジャコ漁業の漁況予測と効率的な操業に役立てるため、3月と4月にモジャコ分布調査を行い、海面水温や潮流、流れ藻の分布、モジャコの付着量やサイズ等を把握し、随時漁業関係者へ速報を提供しています。

3月の調査結果は以下のとおりでした。詳しくは当センターホームページ<漁海況情報>の“モジャコ情報”をご覧ください。

- 調査期間：平成31年3月4～10日
- 調査海域：南薩・西薩・屋久島・種子島・大隅海域
- 流れ藻の分布：昨年，平年（H21～30）より少ない
- モジャコの付着：昨年より多い，平年より少ない
- モジャコのサイズ：昨年，平年より大型



<流れ藻の採集>



<採集されたモジャコと計測の様子>